

家教連

家庭科 研究



…「家庭科研究」を真ん中にして…

オンライン読者会のお知らせ

6月21日（土）19時半～21時

前回12月の読者会では、2024年8、10、12月号について話し合いました。話し合いの一部を紹介します。

＊コロナ禍で家に閉じこもる間にネットの影響が大きく、性に対する興味が増し、性に対する言葉がひどい。小学校では包括的性教育についての認識はあまりなく、どう実践していくかとまどう。

＊性教育にかかわる内容は、保健と家庭科で話し合っていけばいいが、家庭基礎の時間が足りない。

＊消費者教育について最新の情報が掲載された。クイズの実践は時代に即応していた。

＊奈良の平岡さんの実践は、消費者センターとコラボして中学生がTシャツの選び方で討論する内容。大林さんの「どう考える？子どものお金のやり取り」の記事はわかりやすかった。消費者教育について詳しくやりたくても時数が少なく、考えさせる時間がない。

＊大林さん、平岡さんの実践を参考に「自立した消費者になるために」の授業を行った。

※読者の交流の場です。リラックスしてご参加ください。飲食しながらもOK！

※今回は2、4、6月号を中心に話し合います。各号の執筆者に参加していただけるようお願いしています。

※なるべくビデオをONにしてご参加ください。

※参加の方は、下記メールアドレスまで、お名前、職場(所属)、メールアドレス、電話をお知らせください。

※参加費無料です。

※申し込みは6月19日までに。

[参加申し込みメールアドレス：hiroko.m@hb.tp1.jp](mailto:hiroko.m@hb.tp1.jp)

—2025. 4月 家教連編集部—

お問い合わせ：申し込みメールに同じ、電話の場合は 042-735-9740 森弘子